



楓木芸舎

かえでもくげいしゃ
楓木芸舎

創業のきっかけは？

家具職人として、さまざまな仕事を経験する中で、幼少期から好きだったものづくりを仕事にしたい、独立するなら家具づくりをしたいと思っていました。職人肌で経営の知識はなかったので、創業・ベンチャー支援センター埼玉に相談しながら、「100年生きた木から100年生きる家具を…」をモットーに、住まい空間をつくる職人集団の家具工房を創業しました。

事業内容は？

個人、一般、事業所を問わず、特注家具、建具、什器、造作木工を製作しています。受注販売が基本で、量販店にはできない小回りの利いたサービスを展開しています。自然素材と再生素材の共存を理念とし、使いやすく飽きのこないデザインや、木の特性を生かした家具づくりを目指しています。また、地元の魅力再発見プロジェクトの「小川まちゼミ」にて講座を開催するなど、地域貢献にも取り組んでいます。

今後の展開・夢は？

これまで培った技術を生かし、オリジナル家具の販売とともに「楓木芸舎」というブランドを確立させていきたいです。ブランド価値を高めるため、コンペティション（競技会）へは毎年出品しています。新しいデザインや機能を研究しながら、自分の手でつくることにこだわり、使う人の暮らしに寄り添う家具を届けたいです。また、家具づくりの幅を広げるため、法人化や建設業許可の取得も視野に入れています。

上江 智之 さん



上江 智之（かみえ ともゆき）さん（59）

1966年埼玉県生まれ。幼少期からものづくりや絵を描くことが好きで、建具職人、工場、設計、美術教員など、さまざまな仕事に携わる。家具職人としての長年の経験を生かし、55歳で独立。小川町に工房を構え、現在は3名のスタッフとともに、手作業を大切にしながら暮らしに寄り添う家具づくりに励んでいる。

楓木芸舎 <https://www.instagram.com/kaedemokugeisha>

小川町増尾516-7

創業 2021年3月 TEL 0493-81-4457

従業員数 3名

事業内容 家具・店舗什器の製作販売



特に力を入れている椅子づくり。座り心地やデザイン、素材にこだわり、一脚ずつ丁寧に仕上げる



施工事例。カウンター、棚、テーブル、ベンチ、本棚、メニューボード、シンク等の内装建具を製作



コンペティションへ出品したラジアルスツール（左）、ラジアルチェア



2024「小川まちゼミ」にて、コッパマリンバとウインドチャイムをつくる講座を開催